

## 歯科放射線診療ガイドライン委員会第7回会議議事録

日時：2010（平成22）年4月23日（金）9:30～10:00

場所：鶴見大学会館

出席者：佐野 司，中山英二，（敬称略・順不同），林 孝文

報告事項（平成22年度第1回理事会報告と同一）：

1. インプラントの画像診断ガイドラインについて

1) 一般向け解説の公開について

Minds の一般向けガイドライン解説につき、委員のメール審議により記載事項を検討し、2010年2月3日に公開された。

アドレス：[http://minds.jcqh.or.jp/stc/0060/5/0060\\_G0000198\\_CQ.html](http://minds.jcqh.or.jp/stc/0060/5/0060_G0000198_CQ.html)

2) Minds 診療ガイドライン作成グループ意見交換会への出席について（委員長）

第7回診療ガイドライン作成グループ意見交換会（2009年11月7日，東京）において、「ガイドライン作成における合意形成 Evidence Based Consensus」の議論に参加した。

3) 改訂について（継続審議事項）

現在の第2版（Minds 掲載）の策定は2008年9月1日であり、2年後の改訂を予定している。昨年10月23日の第6回委員会で委員の再編成を行なう必要性を確認した。ただし平成22年度当初は理事の改選があるため、新執行部との協議の後に動き出すこととする。

2. 顎関節症の画像診断ガイドラインについて

1) ガイドラインの公表について

委員の連名で投稿した「平成19年度採択プロジェクト研究 A.顎関節症の診療ガイドラインに関するプロジェクト研究 顎関節症の画像診断ガイドラインの策定」が、日本歯科医学会雑誌に掲載された（日歯医学会誌 2010;29:57-61）。

2) 日本歯科医学会ガイドラインライブラリー掲載に向けた活動について

日本歯科医学会の歯科診療ガイドラインライブラリーweb ページ掲載のため、上記投稿原稿をもとにブラッシュアップを行ない、タイトルの適正化と外部評価委員の選定を行い、ガイドラインとしての体裁を整え日本歯科医学会事務局に提出した。掲載部会との数回にわたる協議の結果、構造化抄録の再構成や外部評価委員の再選出（MRI、顎関節痛、ガイドラインの各々の専門家）・外部評価の実質化など、数点の課題が呈示され、今後対応を進めていくこととなった。

審議事項：

1. インプラントの画像診断ガイドライン活動計画

ガイドライン基本委員の8名は留任とし、改訂のための小委員会委員を選定することとした。委員の候補は、愛知学院大学の内藤宗孝先生、鹿児島大学の犬童寛子先生、日本歯科大学の河合泰輔先生、新潟大学の田中礼先生（いずれも内諾済み）。

2. 顎関節症の画像診断ガイドライン活動計画

第23回日本顎関節学会総会・学術大会（2010年7月24日・25日）において、教育シンポジウム「顎関節症の診療ガイドライン（2007-2008年度日本歯科医学会プロジェクト研究報告会）」を通じて公表する。また、顎関節小委員会の小林馨先生、西山秀昌先生には留任いただくこととした。

3. その他

平成21年度日本歯科医学会プロジェクト研究「歯科用CTを用いた歯科画像診断の新たな展開に関するプロジェクト研究：歯科診療における歯科用コーンビームCTの基礎的・臨床的評価」が採択されたことに伴い、コーンビーム（CBCT）小委員会の必要性について、意見交換がなされた。

平成22年度日本歯科医学会プロジェクト研究として、本学会から「摂食・嚥下における画像診断による舌機能検査法」と「非歯原性歯痛の画像診断ガイドライン」を申請する予定であり、採択された場合にはこれらについてもガイドラインの小委員会が必要となるとする意見交換があった（これらはいずれも不採択の結果となった）。

文責：林 孝文